



北秋田市議会だより

ぎかいの杜

NO.89 令和8年2月1日号

12月定例会などの内容をお伝えします。

CONTENTS

- | | |
|--------------------|-------------|
| 12月定例会の審議 |P2~3 |
| 請願・陳情／第3回・第4回全員協議会 |P4 |
| 常任委員会審査報告／所管事務調査報告 |P5~7 |
| 一般質問 |P8~13 |
| 第2回臨時会 |P13 |
| 議会報告会 |P14~15 |
| 議会の動き |P16 |



12月定例会最終日の様子
はこちらのQRコードから
ご覧いただけます。



起立採決（発議案第18号 北秋田市議会ハラスメントの防止条例の制定について）

▼令和7年度一般会計補正予算
今定例会に上程された令和7年度一般会計予算是、5億2430万円8千円を追加し、総額は31億2639万9千円となりました。補正予算の主な事業とその予算額は下記のとおりです。
は、12月2日から12月12日までの11日間の会期で行われました。
今定例会では、条例案7件、補正予算案18件、単行議案9件のほか、最終日には、補正予算案1件、人事案件2件、議員発議による《北秋田市議会ハラスメントの防止条例の制定について》を含む発議案5件が提出され、いずれも原案のとおり可決及び同意としました。
また、陳情6件については、いずれも採択し、意見書を提出することとしました。

令和7年北秋田市議会12月定例会は、12月2日から12月12日までの11日間の会期で行われました。今定例会では、条例案7件、補正予算案18件、単行議案9件のほか、最終日には、補正予算案1件、人事案件2件、議員発議による《北秋田市議会ハラスメントの防止条例の制定について》を含む発議案5件が提出され、いずれも原案のとおり可決及び同意としました。

令和7年 12月定例会

提出された議案を

すべて可決



12月定例会の主な議事

主な補正予算	予算額
人件費	1億2151万1千円
会計管理事業（入出金機オンライン送金事業）	57万7千円
会計管理事業（セミセルフレジ導入事業）	278万5千円
地方交通対策事業（大館能代空港利用促進事業）	150万円
農業振興事業（来たれ次期社長候補！経営継承促進事業）	122万3千円
灯油購入費助成事業	1億8161万8千円
物価高対応子育て応援手当支給事業	5741万3千円

- 北秋田市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市火災予防条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について
- 令和7年度一般会計補正予算（第11号・第12号・第13号）
- 令和7年度各特別会計補正予算
- 令和7年度各事業会計補正予算
- 市道路線の認定について（高村岱6号線ほか5路線）
- 第3次北秋田市総合計画基本構想の策定について
- 北秋田市打当温泉マタギの湯の指定管理者の指定について

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 備考：除斥

所属会派・議員氏名 議案名	採決結果	清明会					新創会				日本共産党議員団		公明党	無会派				
		小笠原寿	永井昌孝	佐々木正史	松橋久敏	中嶋洋子	長崎克彦	堀部壽	佐藤文信	松橋史尚	杉渕一弘	佐藤重光	板垣淳	三浦倫美	久留嶋範子	福田牧子	木村謙一	福岡由巳
※議長は採決には加わりません。																		
議案第84号 北秋田市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●
陳情第45号 夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現のため国に意見書提出を求める陳情	採択	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
陳情第46号 ケア労働者の待遇改善のため、報酬10%以上引き上げを求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
陳情第47号 「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の待遇改善を求める」国への意見書提出を求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
陳情第49号 「小・中学校給食費の完全無償化」のため、秋田県へ財政支援を求める意見書提出の陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
陳情第50号 物価上昇に見合う年金引き上げについて国に意見書提出を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
発議案第18号 北秋田市議会ハラスメントの防止条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●

▼陳情第46号

反対討論 福岡由巳議員

議会報告会でも、市民病院の体制・経営に関する議論があり、産科休止での若者層流出の懸念の意見があった。さらに一般病床の削減により、市民は不安を募らせている。地域に必要不可欠な病院。

▼陳情第47号

反対討論 福岡由巳議員

介護従事者の待遇改善は、今年度補正予算で介護士と事業所への支援として月額1万～1万9千円が支払われる。陳情項目の3、一人夜勤の解消で経営困難の事業所が増加する恐れがある。

▼陳情第49号

反対討論 福岡由巳議員

私も介護サービスを受ける側の年齢になり、身内で介護を利用しているものを見るにあたり、施設には充実した職員が求められています。一人夜勤はやはり改善していかなければならぬ問題です。

▼陳情第50号

反対討論 福岡由巳議員

北秋田市では、既に小中学校及び義務教育学校の給食費が全額無償化に向けて実務者協議と全国自治体に意見聴取。この状況で県に負担を求める陳情に反対。

▼発議案第18号

反対討論 板垣淳議員

議員自らがハラスメントの防止及びその根絶のために必要な事項を定め、市民から信頼される議会になれるよう半年以上も話し合ってきた。先延ばしにするのではなく、いち早い制定が必要と考える。

▼陳情第45号

賛成討論 福田牧子議員

私は介護サービスを受ける側の年齢になり、身内で介護を利用しているものを見るにあたり、施設には充実した職員が求められています。一人夜勤はやはり改善していかなければならぬ問題です。

▼陳情第45号

賛成討論 板垣淳議員

病棟を空き病棟にしては市民の「いのちと健康」を守ることは困難になる。

▼陳情第49号

賛成討論 福田牧子議員

病棟を空き病棟にしては市民の「いのちと健康」を守ることは困難になる。

▼陳情第45号

賛成討論 小笠原寿議員

私は介護サービスを受ける側の年齢になり、身内で介護を利用しているものを見るにあたり、施設には充実した職員が求められています。一人夜勤はやはり改善していかなければならぬ問題です。

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件 名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現のため国に意見書提出を求める陳情	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 奥井 明子	採択	提出
ケア労働者の待遇改善のため、報酬10%以上引き上げを求める陳情	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 奥井 明子	採択	提出
	秋田県春闌共闘懇談会 代表委員 奥井 明子		
「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の待遇改善を求める」国への意見書提出を求める陳情書	秋田県社会保障推進協議会 会長 佐藤 幸美	採択	提出
最高裁判決に基づきすべての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める国への意見書提出の陳情書	秋田県社会保障推進協議会 会長 佐藤 幸美	採択	提出
「小・中学校給食費の完全無償化」のため、秋田県へ財政支援を求める意見書提出の陳情	秋田県社会保障推進協議会 会長 佐藤 幸美	採択	提出
物価上昇に見合う年金引き上げについて国に意見書提出を求める陳情	全日本年金者組合秋田県本部 北秋田支部 支部長 高坂 豊實	採択	提出

市議会全員協議会

第3回

- 森吉山の国立・国定公園化について
- 第3次北秋田市総合計画について
- 北秋田市民病院の病床数適正化について

第3回全員協議会が11月13日、第4回が12月12日に開かれ、当局から説明があり協議が行われました。

—森吉山の国立・国定公園化について—

環境省東北地方環境事務所との共催により、2日間にわたり報告会を開催し、「特筆すべき独自の景観資源が多数存在する」と評価され、「森吉山周辺は新たな国定公園として指定する資質がある」との結論が示されたと説明がありました。また、当市としては国が示した方針を尊重し、森吉山の国定公園化に向けて取り組んでいくとの説明がありました。

より多くの方に調査結果を理解してもらうために、報告会での資料を市公式ホームページに掲載し、あわせてアンケートを実施したと説明がありました。

—第3次北秋田市総合計画について—

令和6年度から2年にわたり基礎調査や各種検討を踏まえ策定が進められ、全体構成、各目標の考え方及び今後の進め方について説明がありました。

まちの将来像を「森と歴史が息づき、幸せを紡ぐまち北秋田～だれもが関わり、未来を築く～」とし、第2次北秋田市総合計画で掲げた理念を引継ぎ、その方向性を更に広げた表現としているとの説明がありました。

—北秋田市民病院の病床数適正化について—

4月より許可病床は320床のままで、稼働病床を177床の3病棟体制で運営しており、運用から半年が経過したが、順調に病院運営できている現状を踏まえ、令和8

第4回

- 北秋田市民病院の診療体制変更について

年度から許可病床及び稼働病床を177床にする予定との説明がありました。

令和7年度の病棟の稼働状況においては、90%前後の稼働で推移しており、ベッドコントロールチームを設置することで、病棟の高稼働と在院日数の適正化、効率的な病院運営を実現しているとの説明がありました。

病床数適正化の効果について、外来、入院とも新たな区分の算定により収益向上に繋がるほか、秋田県単独病床機能再編支援給付金の交付が見込めるとの説明がありました。

—北秋田市民病院の診療体制変更について—

常勤医師の退職に伴う医師確保の見通しを踏まえ、小児科と産婦人科の診療体制変更の説明がありました。

小児科では、来年度4月からの外来診療において、非常勤医師を週5日確保できるよう関係機関と調整中であり、入院受入れは中止せざるを得ない状況だが、連携医療機関への紹介や搬送体制を整備し、地域の小児医療が途切れないよう取り組むとの説明がありました。また、産婦人科では、12月22日から入院受入れを中止し、非常勤医師による週0.5日の外来診療のみの体制に移行せざるを得ない状況であるとの説明がありました。

来年度における医師の着任の見通しが立っていないが、医師確保に向けた取組を継続していくとの説明がありました。

總務文教常任委員會

会計課窓口にセルフレジ導入へ

〔委員長〕小笠原 春 〔副委員長〕五代儀義富 〔委員〕杉瀬一弘／板垣 淳／長崎克彦／堀部 壽

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案1件、単行議案2件のほか、陳情1件の計6件でした。

一般会計補正予算の会計課の審査では、来年度に会計課隣の金融機関の派出業務及び集金業務が廃止になることから、窓口業務に導入されるセルフレジ費用について、委員から「職員の対応が必要なセミセルフレジではなくて、スマートバーなどのようにお客様が一人で作業を行う仕組みはできないものか。」との質疑があり、当局からは「フルのセルフレジもあるが、金額がセルフレジよりもかなり高額であった。また、会計課としては、金融機関やコンビニ、スマートフォンでの納入など、来庁しなくてもよい納税方法を進めていきたいが、そのようなな方法に馴染みの薄い方が来庁されると想定されるため、フルではなく、セミセルフから始めようと考え、今回の導入に至った。」との答弁がありました。

単行議案の第3次北秋田市
総合計画基本構想の策定について、委員から「多様な幸せの実現の方が聞きやすいのか。」との質疑があり、当局からは「ウェルビーリングはなぜウェルビーイングなのか。」との答弁がありました。

以上のようないい處を踏まえ、原案の通り可決すべきものと決し、陳情は全会一致で採択、意見書を提出することに決しました。



金融機関の派出業務廃止のため

を踏まえて 市が目指す多様な幸せの表現としてウエルビーライングを使用した。」との答弁がありました。

總務文教常任委員會

11月11日「教育現場のICT機器活用について」の調査を実施しました。機器の導入は令和3年からの取り組みですが、今回テレビモニターを電子黒板に替える決定となりました。電子黒板は、黒板とパソコン機能の両方を持っており、画面を拡大・縮小、保存などが可能で、カメラ機能によって下に置いたものを画面に表示したり、複数生徒のタブレットの書き込みを表示したり保存する事も可能です。鷹巣東小での視察では生徒の学習意欲向上や教師の多忙化解消などに効果が出ているとの報告に接しました。出来るだけ早い時期の『全校導入』が望されます。

(文責者：副委員長 五代儀義富)



市民福祉常任委員会

市民病院病床数削減

[委員長]永井昌孝 [副委員長]福田牧子 [委員]木村謙一／久留嶋範子／中嶋洋子／佐藤文信

当委員会に付託された案件は、条例案4件、予算案8件、陳情5件、計17件であります。

「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例」及び「乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

「病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例」については、委員から「療養病床48床がなくなること」との質疑があり、当局からは「一般病床169床の内、地域包括ケア病床60床を確保しており、介護関連のケアが必要な患者さんに対応している。」との答弁がありました。また、委員から「看護師の充足状況や疲弊状況はどうか」との質疑があり、当局から「産休取得者の増加や高稼働率運営により負担がかか

つている状況」との答弁がありました。さらに、委員から「市民の不安が大きい。市民からの意見を聞いて対応すべき」との質疑があり、当局からは「医師や看護師の確保が非常に難しい状況、大館・能代との連携を進めていく」との答弁がありました。これを踏まえ、賛成多数で可決すべきものと決しました。

「火災予防条例の一部を改正する条例」については全会一致で可決すべきものと決しました。

「火災予防条例の一部を改正する条例」については全会一致で可決すべきものと決しました。

改訂災害対策基本法において市町村は、避難行動要支援者の避難行動に対して個別避難計画を作成するよう努めなければならないとしました。武雄市は「医療的ケア児の個別避難計画」作成と避難訓練を毎年実施しておりテレビでも放映されました。

また、障害児者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援の機能（相談・緊急時の受入対応など障害児者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築・整備）において先進的事例がある神埼市を訪問しました。



医療的ケア児の災害時支援を学ぶ（神埼市）

佐賀県武雄市・
神埼市を視察研修

所管事務調査報告

電源が保持できる蓄電池に対する補助金の他、非常電源が確保できる市役所を避難所に設定、個別災害時の対応フローチャートを作成しているとの事でした。

神埼市は（佐賀県の広域区域）、緊急時、相談対応する基幹コールセンター7名（地域拠点4名・虐待対応3名）を配備、24時間365日対応できる体制が構築されている。登録者は2ヶ月のショートステイを平常時に利用し、緊急時はその中から対応できる施設に入所します。

大変有意義な視察研修となりました。

（文責者：副委員長 福田 牧子）

後期高齢者医療特別会計補正予算、阿仁診療所特別会計補正予算、米内沢診療所特別会計補正予算の8件はいずれも全会一致で可決すべきものと決しました。

武雄市は、避難行動要支援者の約半数が名簿に登録されています。全国的に個別避難計画作成が進まない中、武雄市を襲った水害後、医療的ケア児を療育する保護者から「呼吸器のバッテリー残量がわが子の命の時間です。命のカウントダウンが始まると親の気持ちがわかりますか。」との訴えから何かしなければと考へ、現在は、3日間

産業建設常任委員会 マタギの湯の指定管理者決定

[委員長]松橋久敏 [副委員長]福岡由巳 [委員]三浦倫美／松橋史尚／佐々木正史／佐藤重光

当委員会に付託された案件は、予算案3件、単行議案7件の合計10件でした。令和7年度一般会計補正予算の農林課の審査では、来たれ次期社長候補！経営承継促進事業費補助金について、委員から「想定される法人数は」との質疑に、当局からは「現在想定しているのは1農業法人である」との答弁がありました。

産業政策課の審査では、保育園留学運営委託について、委員から「対象者を外国人に拡大した経緯は」との質疑があり、当局からは「外国人の受け入れの問い合わせが増えるなど、ニーズの高まりから、受け入れ態勢を整えるものである」との答弁がありました。

建設課の審査では、公衆トイレ清掃委託について、委員から「冬期間、中央公園のトイレは閉鎖されるが、ウオーキングする市民もいる。利用できるようになりますか」との質疑があり、当局からは

「水洗トイレは凍結による便器や配管等が壊れる可能性があり、水洗ではないトイレは、雪の吹込みや照明等の問題があるため閉鎖している。冬期間の利用については、検討する」との答弁がありました。

単行議案、北秋田市打当温泉マタギの湯の指定管理者の指定について、委員から「大雪による除雪収入の大幅増もあり、令和6年度決算は黒字であったが、経営改善を進めが必要があるので」との質疑に、当局からは「社員ミーティングにより課題や危機感を共有しているほか、経費を抑えつつ、売上を伸ばせるよう経営改善に取り組んでいる」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、予算案、単行議案とも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

(委員長 松橋 久敏)

所管事務調査報告

長野県飯山市を

視察研修

道の駅たかのす整備事業について、その将来像を求めて長野県飯山市へ行つて参りました。飯山市は、2015年の北陸新幹線飯山駅開業を契機に、近隣9市町村と連携した広域観光圏「信越自然郷」を構築しています。これは、一自治体の枠を超えて、県境を接する新潟県側も含めた「面」での観光振興を目的としたもので、具体的には、飯山駅構内に「信越自然郷アクティビティセンター」を設置。新幹線利用客に対し、周辺エリアのスキー、トレッキング、サイクリング等のアウトドア情報を一括提供し、各拠点へ送客するゲートウェイ機能を果たしています。

大変有意義な視察研修になりました。
(文責者：委員 松橋 史尚)



モンベルとの包括連携協定を学ぶ（飯山市）

子どもたちの生き抜いていく力の育成③自然体験の促進による健康増進④防災意識と災害対応力の向上⑤地域の魅力発信とエコツーリズムの促進による地域経済の活性化⑥農林水産業の活性化⑦高齢者、障がい者等の自然体験参加促進に関することとなつており、官民連携による通常型観光の質的向上を実現しています。

また、モンベル社とさらなる緊密な相互連携でアウトドアアクティビティを促進し、地域の活性化や市民生活向上に役立てていく目的の下、包括連携協定を締結しています。その内容は、①自然体験の促進による環境保全意識の醸成②

活かそう市民の声

市政を問う！一般質問

一般質問は、12月4日・5日の2日間で行われ、9人の議員が登壇しました。

福田 牧子 議員 (P 9)

- ◆物価高騰対策
- ◆いじめ防止対策について
- ◆ケアラーの支援について

佐々木 正史 議員 (P 9)

- ◆耕作放棄地管理と熊対策や森林の多面的機能におけるゾーニングについて
- ◆公式ライン情報の充実について

福岡 由巳 議員 (P 10)

- ◆北秋田市文化祭のあり方について

三浦 優美 議員 (P 10)

- ◆クマ対策について
- ◆市職員の増員を

板垣 淳 議員 (P 11)

- ◆森吉コミュニティセンターの改築について
- ◆森吉山荘の再開について

松橋 史尚 議員 (P 11)

- ◆熊対策について

久留嶋 範子 議員 (P 12)

- ◆今後の物価高対策について
- ◆不登校の児童生徒への対応について
- ◆認知症予防へ聴力検査を

永井 昌孝 議員 (P 12)

- ◆公共施設等総合管理計画について
- ◆経済政策について
- ◆熊対策について
- ◆友好交流都市「国立市」との体制整備について

木村 謙一 議員 (P 13)

- ◆歩行者の安全対策について
- ◆阿仁萱草大橋の駐車場整備について
- ◆熊による被害について
- ◆物価高対策について

※各質問者のQRコードから一般質問の映像をご覧いただけます

福田 牧子 議員

(公明党)



物価高騰・いじめ

・ケアラート対策

Q 日本全体と秋田県の統計では、いじめの件数が増加。北秋田市の現状と対策。加害者の教育的支援としてアンガーマネジメントやカウンセリングが必要では。

A 機会均衡の面では平等性を確保。今後について給付型、販売型にす
Q プレミアム付応援チケットの販売について、現金が手元にない。追加販売がイオン鷹巣で行われ、3時間待ちで床に座り込む。阿仁や合川地域の住民には不利で不平等であるとの苦情があるが見解は。

A 一人当たり2万円を調整中。事業者支援は現時点では具体的になつていなかが幅広く検討する。

ヤングケアラーについて

A 今月中旬の内示を待つて いる状況だが、灯油購入費の助成事業、障害者施設、介護施設の光熱水費の他、臨時交付金とは別枠で児童

**Q 厚労省のケアラー（家族など
償の介護者）は、経済的・健康的・
精神的に制約を受けており支援が
必要。実態調査や相談窓口が必要
では。**

るかは課題。

佐々木 正史 議員

(清明会)



耕作放棄地管理と

緩衝地帯について

Q 荒廃農地の再生による農地保全
や農地の持つ多様性を維持し当該
団体のみならず市民の声を伺いな
がら効果的な施策の研究をする。
農業委員会で対応できる制度はな
いが市長部局と今後協議する。

Q 全国的に農地の荒廃が進んでいるが、当市内において、遊休農地の再生に取り組んでいる団体が組織され活動しているが、経費の捻出に懸念が示されている。この様な取組は全国的にみて先進的な取組と評価されていることから、農業委員会と連携し経費を予算化し、支援できないか。

A 4年続きの豪雨災害で被害や規制が出ているが市公式ライン情報に、国道・県道・市道の通行止め等規制情報も発信するべき。

A 託することは出来ないか。



熊対策における緩衝帯整備

福岡 由巳 議員
(無所属)



広く芸術文化活動普及する文化祭を

Q 北秋田市文化祭演示（ステージ）

部門の開催は昨年まで2日間だつた。出演団体数がほとんど同じだつたが1日になつた。何故か。

A 運営スタッフの負担軽減を図る必要があるなどから協議の上決定

Q 具体的には、浜辺の歌音楽祭を開催したことで1日がつぶれたことになるが何故こうなつたのか。

A 担当職員が大きな事案を2件抱えなければならない状況で実行委員会に諮り決めた。



プログラムにも問題

A 職員が対応できる範囲を超えているので変更させていただいた。

Q 納得できない。次に、この度の特別公演に際して観客のマナーが問題だったようだが会場内の整備は誰が対処すべきであったのか。

A スタッフが開演前や公演中もマナー順守を呼びかけるなどした。なかつた。統括責任者が会場内も統括すべきだったのではないか。

A 責任を感じているが対応策は思いつかなかつた。

Q 観客が憤慨して現場担当者に怒つたり、抗議のメモを置くなど大変だつたとのこと。公演の準備に不行届きがあつたのではないか。

A 不行届きについては甘んじて受けれる。今後相談をしていきたい。

三浦 倫美 議員
(日本共産党議員団)



クマ対策やぶの刈り払い補助を

Q 市としてのクマ対策は。

A 平成24年度「北秋田市鳥獣被害防止計画」策定し有害捕獲や緩衝

帶整備、誘因物除去・防護柵設置

への支援を実施。令和2年度「ツキノワグマ市街地等出没対応マニ

ュアル」策定し防災ラジオ・市公

式ライン・ヤフーメール活用の情

報発信や注意喚起を実施。令和7

年度「クマ特別対策事業」で新たに生息するようになった市北部を対象に「管理強化ゾーン」を設けて捕獲を強化する「ゾーニング管理」を実施。しかし人身被害や住宅密集地や小学校付近出没で、市民生活に支障が生じ、自衛隊の協力や国会議員に直接現状を伝え、支援を要請してきた。

Q 地域のやぶ刈り払いへの補助を。

A 「地域による藪刈り払い」大変有効。県の「森づくり県民提案事業」を活用した学習会や草刈等を実施した自治会、市の「果樹木伐採補助金」を地域で取りまとめて実施した事例もある。今後も「地域ぐるみ」で総合的な対策に取り組める施策を検討していく。

Q 市職員の増員を。

A 近年は大雨災害対応やクマ出没など緊急対応が増え、通常業務に加え職員の負担が増加。職

員の心身の健康確保が重要であり、フレックスタイム制度やテレワーク導入、育児休業取得促進など職場環境改善に取り組む。

職員数が市定員管理計画目標値を大幅に下回っており、一般職員、消防吏員の必要職員数の確保を図っていく。



いつでもどこでも熊に注意

板垣 淳 議員
(日本共産党議員団)



コミニセン建設場所 よく話し合つて

A 10月に開催された森吉コミュニティセンターの建設場所や機能を話し合う住民説明会では、現在地への建てかえを望む声が圧倒的だった。地元紙も「現在地に整備をとの声が多く上がった」、別の新聞も「現在地への建設を望む意見が相次いだ」と書いた通り。なのに教育委員会は市長に「住民説明会では旧米内沢病院跡地への建設におおむね理解を得た」と報告し進めようとしている。行政が事実でないことに基づいて物事を進めるとはとんでもない。地域住民とよく話し合つてから決めるべきであり、再度の意見交換の場を持つべきだ。



改築する森吉コミュニティセンター

Q 10月に開催された森吉コミュニティセンターの建設場所や機能を話し合う住民説明会では、現在地への建てかえを望む声が圧倒的だった。地元紙も「現在地に整備をとの声が多く上がった」、別の新聞も「現在地への建設を望む意見が相次いだ」と書いた通り。なのに

A 救急指定になつていらない。食事をつくる人も材料もない。

Q 森吉山荘再開について住民説明会も年内にやると議会で答弁した。しかし行われていない。議会に約束したことは守らないとだめだ。

A 適切な時期に実施する。

米内沢病院跡地への建設をおおむね理解していただいたと認識している。再度の説明会をやるかどうかは検討したい。

松橋 史尚 議員
(新創会)



クマ対策について

A 北秋田市鳥獣被害防止計画は令和5年度に、これまでの北秋田市の対応を検証しつつ、今後を見据えた令和6年から8年までの鳥獣による農林業等に係る被害を防止・軽減し市民の安全で安心な生活環境を確保する目的で作られているが、令和7年度の北秋田市内における目撃情報や人身、農林業等の被害は、甚大である。この計画をより実効性のあるものにする意味でも見直し、修正する必要性があると感じるが、市長の考えは。



熊の餌となる果樹木の伐採

Q 北秋田市鳥獣被害防止計画は令和5年度に、これまでの北秋田市の対応を検証しつつ、今後を見据えた令和6年から8年までの鳥獣による農林業等に係る被害を防止・軽減し市民の安全で安心な生

A 現在、北秋田市果樹木伐採補助金により支援を行つているところであるが、所有者が遠方に移住している場合、同意が得られずに対応が進まない現状もあるため、地域ぐるみで総合的に取り組む仕組みや制度を設計する中で検討していく。

Q 果樹木の伐採、整備に関する対応は。

久留嶋 範子 議員
(日本共産党議員団)



**今後の物価高騰
対策について**

Q 政府が示した物価高騰対策についての受け止めと「重点支援地方交付金」の拡充についての考えは、

A 国民生活や地域経済を下支えするため、幅広い措置が講じられており、一定の効果が期待できる。

Q プレミアム付応援チケットを購入できない市民がいた。給付型で行うべきでなかつたか。また追加販売時の混雑は今後の課題と考

A 生活者と事業者の両面を支援する取り組み。市民から、好評を博した事業であったと認識している。

第2弾の追加販売時の混雑解消は今後の重要な課題と受け止める。

Q 今冬も、非課税世帯に灯油購入券を助成してはいかがか。

A 今年度は、市内の全世帯を対象



全世帯に灯油購入補助決定

とした「灯油購入費助成事業」を早急に実施できるよう、最終日に追加提案の予定。

Q 不登校の児童生徒への対応について、現状と支援体制は十分か。

A 不登校の子どもたちの居場所として、市内各校では、保健室や特別教室、校内教育支援センターを活用。今後は、対策検討委員会を設置し、提言を踏まえて、対策を強化していくたい。

Q 聴力の低下は認知症のリスク要因とされている。能代市で行われた認知症予防を目的にした高齢者の聴力検査を実施できなか。

A 県のモデル事業で、将来的には各市町村が独自に実施できるよう、事業実施の手引きを作成し、実施方法や体制も含め検討したい。

Q ゾーニング管理の現状と今後は。今年度から市の北部を対象に管理強化ゾーンを設定し捕獲を強化。取組の効果は専門家の意見を踏まえて検証し、市民に情報共有する。

Q ハンター確保策とガバメントハンター導入は。

A 新規免許取得者への支援を段階的に拡充し、若手加入により会員約120名を維持。ガバメントハンター導入や捕獲機材のDX化、捕獲作業補助員導入など負担軽減に努める。

Q スクールバス通学支援の拡充は。熊出没時は臨時運行で対応。距離基準は維持し、保護者の声を聞きながら柔軟に実施する。

永井 昌孝 議員
(清明会)



熊対策と地域経済

Q ゾーニング管理の現状と今後は。

A 今年度から市の北部を対象に管理強化ゾーンを設定し捕獲を強化。取組の効果は専門家の意見を踏まえて検証し、市民に情報共有する。

Q ハンター確保策とガバメントハンター導入は。

A 新規免許取得者への支援を段階的に拡充し、若手加入により会員約120名を維持。ガバメントハンター導入や捕獲機材のDX化、捕獲作業補助員導入など負担軽減に努める。

Q 友好交流の体制整備は。

A 総合政策課が総合窓口。各分野の担当部署が庁内横断的に連携し事業を推進。第3次総合計画に位置づけ体制強化に取り組む。

企業へ協力要請を実施。学校生活動サポート員配置で教員負担を軽減。

Q 商工会の活動環境支援策は。

A 経営改善普及事業補助金で運営費の一部を助成。地域産業振興事業を支援。事務所移転など課題も協議し対応。

Q 宮前町庁舎2階の活用方針は。

A 現在は統計業務で使用し会議室不足も一部解消。組織改編等があれば事務スペースとしての活用も検討。

Q 保護者や教職員の負担軽減策は。

A 商工会、工業団地協議会を通じ



熊出没における通学警戒

木村 謙一 議員

(無所属)



市民が安心して

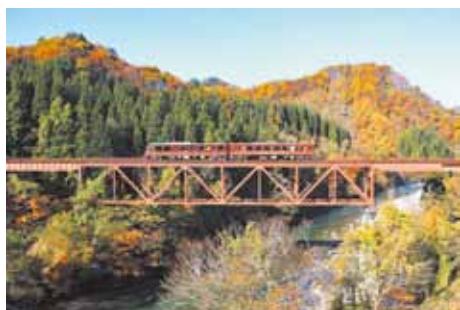
暮らせる北秋田

Q 阿仁合駅周辺道路へのグリーンベルトの設置の考えはあるのか。

A 冬季間の維持管理が難しいため、今後は実線や二重線などによる安全部対策を検討する。

Q 国道105号線の阿仁萱草大橋は秋田内陸線の撮影スポットだが駐車スペースがない。事故防止と地域活性化のため整備を要望する。
A 危険な駐車行為は危惧している。実態を調査し、必要と判断した場合は付近の市有地等活用も含め検討する。

Q 今年の熊による被害についての、当市における現状や今後の対策について。
①登下校送迎に対する保護者の不満はなかつたか。②熊撃退スプレーの公共施設等への配備状況は。



萱草大橋からの内陸線
「出典：NPO森吉山ネイチャー協会HP」

※グリーンベルト

歩道がない道路に路側帯を緑色に着色した、歩行者と車の接触事故を防ぐための交通安全対策。

A 国の交付金を活用し、市内の全世帯を対象とした灯油購入費助成事業を実施する。

Q 燃料費高騰が長期化している。市民が安心して暮らせる灯油クーポン券の配布を要望する。

A ①負担の声もあるが、協力に感謝している。②市役所、保育園、児童クラブ等21施設へ配備した。学校へは2本ずつ配備した。③団体利用等の場合、当面の間は無償化措置を講じている。④および⑤は、今後、地域ぐるみの総合的な取組を支援する制度設計の中で検討する。

第2回 臨時会

令和7年度 一般会計補正予算 35億6299万7000円を追加

第2回臨時会が11月13日に開かれ、上程された承認1件、予算案1件、報告2件が提出されました。

今臨時会に上程された承認には、熊対策に関連した「果樹木伐採補助金」や「鳥獣被害防止総合対策交付金」などを含む1713万3000円、予算案には、ふるさと納税事業や災害復旧関連における予算として35億4586万4000円が計上されました。

議案に対する質疑では、議員からふるさと納税事業におけるお米の返礼品の管理に関して、災害復旧関連においては、災害箇所、応急処置及び調査に関する質疑がありました。

審議の結果、原案のとおり承認および可決しました。

《一般会計補正予算の主な事業》

▷林業振興費（熊対策関連）
1713万3000円

▷企画費（ふるさと納税事業）
2億4999万1000円

▷災害復旧関連
32億9587万3000円

第2回臨時会の様子はこちらの
QRコードからご覧いただけます。



令和7年度 議会報告会を開催

11月16日(日曜日)、市内4会場で「市民生活について」をテーマに議会報告会を開催し、38名の皆様にご参加いただきました。

報告会では、議会の活動や予算等の審議に関して報告したほか、テーマである「市民生活について」のほか、「道の駅たかのす」や「熊対策」に関することなど、多くの項目について貴重なご意見やご要望等を頂戴することができました。皆様からのお声は各議員で共有させていただきますとともに、市当局へも伝えさせていただきます。

ご意見等やアンケートの集計結果は後日ホームページに掲載させていただきます。

ご参集いただいた皆様には心より感謝申し上げますとともに、今後とも貴重なご意見を賜りますようお願い申し上げます。

【各会場の参加者数 及び 出席議員】

▷鷹巣地区（北秋田市民ふれあいプラザ） 参加者：14名

　＜班長＞永井昌孝＜班員＞松橋史尚／杉渕一弘／中嶋洋子／板垣 淳

▷合川地区（合川公民館） 参加者：6名

　＜班長＞久留嶋範子＜班員＞佐々木正史／佐藤文信／小笠原寿

▷森吉地区（森吉庁舎） 参加者：4名

　＜班長＞佐藤重光＜班員＞福岡由巳／五代儀義富／松橋久敏

▷阿仁地区（大阿仁出張所） 参加者：14名

　＜班長＞長崎克彦＜班員＞木村謙一／福田牧子／三浦倫美



合川地区（合川公民館）



鷹巣地区（北秋田市民ふれあいプラザ）



阿仁地区（大阿仁出張所）



森吉地区（森吉庁舎）

各地区の模様をお知らせします

合川地区

参加者 6名

午前 10 時開会、6名の参加者があり、初めに当方より資料の内容説明を行い質疑に入りました。開口一番、熊の対策について質問や要望があり、被害激増、猟友会の高齢化・人手不足、トラップ・電気柵等の不足等が訴えられた。それに対し国の「熊被害対策パッケージ」の紹介と、地域での具体的対応として捕獲体制、報酬増額等の対策が必要と答弁。また、道の駅関連では事業費の大幅拡大の内容等説明不足と住民説明会の必要性・目的が不明瞭との指摘がありました。その他、下水道料金算定基準に納得出来ないとの意見や路線バスに対する助成の効果に対する疑問として、マイクロやワゴンでも対応可能ではとの提言。

ふるさと納税が多いようだが使途の透明化の要求、下水道料金の算定基準の整合性、固定資産税の算定基準が路線価と連動していないとの意見や、公共事業の入札内容の公表についても要望がありました。

阿仁地区

参加者 14名

(ままで)

「熊対策」について、日常生活が儘ならない、県の対策は不十分との意見がありました。県が阿仁地区に視察に来る予定など、現在の対策と今後の方向性を共有しました。地域の「公共施設の再利用」についての質問がありました。利用できない施設は、順次解体の予算執行されており、廃校の建物は、『みんなの学校プロジェクト』に登録していることなどを返答しました。「災害対策」については、豪雨災害後の被害状況と復旧状況の質問がありました。激甚災害指定予定（国庫補助金対応）でありますが、入札不調で復旧工事は進んでいません。土木業の人材育成として、児童・生徒の体験学習や外国人材の育成・活用、賃上げ対策が必要であるとの考えを伝えました。「米対策」について、阿仁地区は山間地域のため、兼業農家支援の依頼がありました。「プレミアム付き応援チケット」の追加販売時、3時間待ちで床に座り込む高齢者がおり、改善の要望がありました。

鷹巣地区

参加者 14名

道の駅整備計画（33.8億円）では、来場者目標（30万人→60万人）や売上見込み（1.8億円→3.7億円）の根拠となる交通量調査やマーケティング資料の提示、立地の妥当性、地方債の償還計画について、より詳しい説明を求める声が多数ありました。森吉山など周辺観光資源との連携強化や立地の再検討を求める提案もありました。

市民病院については、産婦人科休止による地域定住への影響や、病床数見直し計画（320床→177床）の詳細、診療報酬への影響説明を求める声がありました。病床縮小だけでなく、専門医招聘など攻めの経営改善策も必要との指摘がありました。

クマ対策では、箱わな増設（現在64基）、国のクマ対策パッケージの活用、出没・捕獲データの公開、緊急対応マニュアルの整備が提案されました。

その他、ごみ集積所の運用改善、水道料金改定の丁寧な説明、文化財保護、高齢者講座の再開など、多様なご意見をいただきました。

森吉地区

参加者 4名

森吉山荘について、再開の運営形態は温泉がなく食事も付かないとのことであるが、ニーズに沿ったものではない。森吉山荘を補う施設として、クヴィンス森吉しかないと思う。宿泊施設がなくては、森吉山の国定公園化の意味がないとの意見がありました。また、森吉エリア国立・国定公園化推進議員連盟は、公園化の中身を議論する方向に舵を切ってほしいとの要望がありました。改築する森吉コミュニティセンターに地元の木村家、庄司家、金家など豪族の資料を保存できる歴史資料室を作つてほしいとの要望がありました。道の駅たかのすのリニューアルについて、知人、親戚の誰一人やつた方が良いと言う人はいなかった。むしろやめてもらいたいと言う意見だけであったとの報告がありました。クマ対策の果樹木伐採について、迅速に対応するためには、市と業者間の委託契約への変更を求める要望がありました。皆様の声は、今後の議会活動に活かしてまいります。

議会の動き

〈10月16日～1月15日〉

10月	16日	・広報広聴特別委員会
	22日	・全国民間空港所在都市議会協議会第108回臨時総会
	28日	・北秋田市森林・林業・林産業活性化議員連盟研修会 ・秋田県市議会議員研修会
	30日	・全国過疎問題シンポジウム2025（～31日）
	4日	・東北市議会議長会理事会 ・県道矢坂糠沢線整備促進期成同盟会要望活動
11月	5日	・産業建設常任委員会所管事務調査（～7日） ・議会運営委員会
	6日	・令和7年度秋田県北部地域秋期合同要望活動（東京都）
	10日	・市民福祉常任委員会所管事務調査（～12日）
	11日	・総務文教常任委員会所管事務調査
	13日	・第2回臨時会 ・第3回全員協議会
12月	16日	・議会報告会
	17日	・令和7年度秋田県北部地域秋期合同要望活動（仙台市）
	18日	・秋田県市議会議長会臨時会 ・秋田県知事との行政懇談会
	20日	・秋田県後期高齢者医療広域連合議会11月定例会
	21日	・議会運営委員会
1月	26日	・議会運営委員会
	2日	・12月定例会（初日） ・広報広聴特別委員会
	3日	・小阿仁川筋ダム協議会 ・森吉山阿仁スキ一場安全祈願祭
	4日	・本会議 一般質問①
	5日	・本会議 一般質問② ・議会運営委員会
2月	8日	・総務文教常任委員会 ・市民福祉常任委員会 ・産業建設常任委員会
	12日	・議会運営委員会 ・12月定例会（最終日） ・第4回全員協議会
	18日	・北部地域期成同盟会県・県議会要望
	23日	・薬師山スキ一場開き

議会を傍聴してみませんか？

市議会では、皆さん的生活に直結した重要な問題を審議しています。開かれた議会を目指し、どなたでも本会議の傍聴が可能となっていますので、市議会の活動状況をぜひご覧くださいとお待ちしています。

次の定例会は2月の予定です

各常任委員会の会場

- ▷ 総務文教（本庁舎）
 - ▷ 市民福祉（本庁舎）
 - ▷ 産業建設（本庁舎）



市議会へのご意見を募集しています

- 対象 市内在住又は通勤通学をしている方
 - 方法 手紙、FAX、メールなど（文字で読める形式のもの）
 - 公表 ホームページや広報紙で公表する場合があります。
 - あて先 〒018-3392
北秋田市花園町19番1号 北秋田市議会事務局
 - メール gikai@city.kitaakita.akita.jp
 - FAX (0186) 62-4845



朗読ボランティアやまびこ
日の不自由な方に広報の声
訳CDを配布します

市議会広報の読み上げを録音した音訳CDを無料で配布しています。

- 9日・広報広聴特別委員会
- 14日・産業建設常任委員会所管
事務調査
- 15日・広報広聴特別委員会
 - ・市民福祉常任委員会所管
事務調査

広報広聴特別委員会

富敏巳子彦
儀久由範洋
橋岡留嶋中嶋直彦
五代松福久留嶋中嶋直彦